

寺田 守 議員

歴史的建造物の

保存と活用を

問 本市には神社仏閣を中心に、多くの歴史的建造物が残っている。これを保存し活用することは、まちづくりや観光振興に重要と思うがどのように考えるか。また、建築後50年以上経過した重要建造物に対し、登録有形文化財制度を利用することで、貴重な歴史遺産を後世に引き継ぐことも重要と考えるがどうか。

答 歴史的建造物を残しておくことは、市民の郷土への愛着や誇りにつながり、また貴重な地域資源としても活用ができると考える。まちづくりにとって重要な資源なので、大切にしよう努めていきたい。また、可睡斎の瑞龍閣、東司については、登録有形文化財としての基準を満たしていれば、所有者の意向を踏まえ推挙していきたい。



昭和12年に建立された可睡斎瑞龍閣

久能地区の

地域整備の考えは

問 過去に進められた久能地区の区画整理事業は、中断したままになっている。今後の住環境の整備はどうか。

答 久能地区については、いくつかの都市計画道路の整備は進んだが、まちづくりの課題が解決したとは考えていない。地域でどのような整備が必要か協議をしていただくことが大切と考えている。

竹原 和義 議員

「桜ライン311」

里親制度の取り組みは

問 岩手県陸前高田市で、津波到達地点を桜の木でつなぐ「桜ライン311」事業を進めている。本市での桜の里親制度を提案するがどうか。

答 広報紙やホームページなどで積極的に周知し、一人でも多く、この活動を知っていただけよう協力したい。

「ごみ出しパスポート」

制度の取り組みは

問 高齢者世帯などに「身分証明書カード」を登録貸与することで、他地区自治会へのごみ出しも可能とすることを提案するがどうか。

答 自治会相互の了解が必要となることから、状況を把握し、自治会の意見を伺うなど、研究していきたい。

フェイスブックを活用した

特産品販売は

問 農を活かしたまちづくりを提唱している本市において、フェイスブックにアンテナショップを開設することが必要と考えるがどうか。

答 コミュニケーションサイトや特産品販売ページとしてのフェイスブックページの開設など、市ホームページを含めた情報発信のあり方を研究していきたい。



「桜ライン311」プロジェクトのホームページより